



ドッチビーは 新城市から

全国へ 広がった



第1回ドッチビー全国大会 in ナゴヤドーム 2005年7月31日
全国より148チーム 2204人の選手が参加
(第1回全国大会の写真)

新城市とドッチビー

- ドッチビーは、愛知県フライングディスク協会初代会長の中嶋才資（故人）氏がその誕生に関わり1990年代に活動が始まり、その普及が進められて来ました。
- その普及活動を新城市・新城市教育委員会・学校関係のみなさんが後押しし、その後援のもとに今日の形が作られました。
- 史上初めての公式ゲームの大会は大規模に2000年8月に開かれました。
新城総合公園での『第1回ドッチビーこども選手権しんしろオープン』がそれです。

ルール作りから～公式試合の初めての開催など

ドッチビーの始まりを 育て 普及に力を注ぎ

今日の基礎を作ったのが

中嶋さんを中心にした多くの皆さんの力です。

新城市はドッチビーのメッカ・ふるさと・公式ゲーム大会を始めたまち・・・発祥の地として
発信され、新聞・テレビ等でも紹介されてきました。

編集 新城市北部体育振興会 広報係
協力 愛知県フライングディスク協会
元・新城市教育委員会教育長 小林芳春
大海自動車株式会社社長 中嶋美明

ドッジビーの歴史



- 1990年代 各地でおこなわれた、フライングディスクのプログラムに布製のディスクが登場しました。
- 1993年 株式会社ヒーローが布製のディスクを特許出願、権利を取得『スーパーソフトディスク』となづけ、国内生産開始

ドッジビーのルール作成・普及への取り組み・そして名称の統一

中嶋会長と野田俊一さんが中心となり新城市内の小学校に出向き、実践しながらルールを作成、普及活動を始めます。

1998年(平成10年) 2月

愛知県フライングディスク協会中嶋会長がソフトディスクを自分の郷里の小学校の新城市立東郷西小学校・東郷東小学校に寄付をされて『ドッジビー』が、放課の遊びとして紹介されました。



10月25日(日)

愛知県フライングディスク協会主催

『東海フライングディスクフェスティバル98』開催

(楽しい体験コーナーにドッジビーを採用)

11月14日(土)

中日スポーツ新聞『遊びま専科』

新城市誕生のドッジビーとして紹介、

(写真は東郷東小学校昼休みのグラウンドの様子)



中日スポーツ新聞の紙面より抜粋

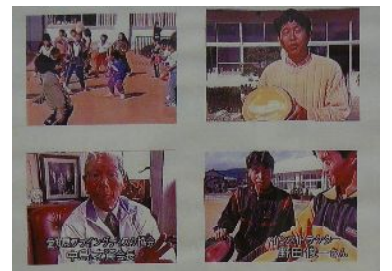
『フライングディスクでドッジボールをやる、というのはだれが始めたわけでもなく、昔から楽しまれていたんです。布製のソフトディスクを使い、より手軽にしたのがドッジビーで今年の初めから普及に力を入れ始めました。』
(愛知県フライングディスク協会の中嶋才資会長の談話)

12月2日放送

NHK 総合テレビ『こんばんは6時です』ニュース番組の中で新城市発祥のドッジビーとして紹介された。

東郷西小学校で11月26日撮影された授業風景が放映されました

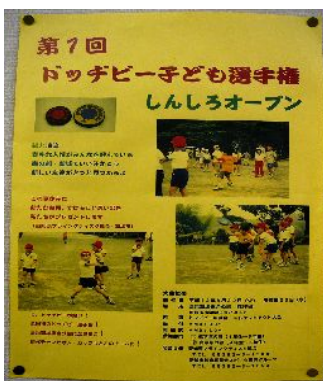
(*インストラクターの野田俊一さんの指導のもとに)



1999年(平成11年) 名称を『ドッジビー』と統一

史上初めてドッジビー公式ゲームの大会を開催

2000年(平成12年) 8月22日(火)



ドッジビー公式ゲームの大会を大規模に開催

『第1回ドッジビーこども選手権しんしろオープン』開催

主催・愛知県フライングディスク協会主催

後援・新城市教育委員会

会場 新城市の県営新城総合公園 多目的広場

(53チーム総勢450人参加)

日本で初めての公式試合〜〜〜史上初めての公式大会

2002年（平成14年）11月17日（日）
『ドッチビー2002しんしろ』開催
主催・愛知県フライングディスク協会
後援・新城市教育委員会
会場・新城小学校で開催
(大盛況で終了)



2003年9月28日放送
BS2で放映された『おーいニッポン〜今日はとことん愛知県』
1000人のメッセージの中で『ドッチビーのメッカ新城市』を紹介
(大海自動車本社3階にて収録)



中鷹才資会長が声高らかに
『ドッチボールとフリスビーを合わせた
安全に楽しめる! ドッチビー です』
とドッチビーをBS2で全国で紹介

【リハーサル時〜『ナゴヤドームでドッチビーの全国大会を開催するぞ〜』
と宣言した所、番組の趣旨と違うとの指摘で上記コメントへ変更になりました】



2004年（平成16年）5月26日（水）OA
メーテレ テレビ
『どですか』ニューススポーツのコーナーにて紹介されました
右写真及び下記文章は番組『どですか』のホームページ上より転記



- ・「ドッチビー」とは、愛知県新城市で生まれ育った「ニューススポーツ」。
- ・普通のフリスビーとは違い、柔らかい素材で出来ているので小さな子供でも大丈夫!

(平成16年)10月
『ドッチビーチャレンジカップ』開催
静岡県富士市にて開催
富士市と新城市の小学生が対戦する初の地域交流

第1回ドッチビー全国大会開催

2005年（平成17年）7月31日（日）



『第1回ドッチビー全国大会 in ナゴヤドーム』開催
会場・ナゴヤドーム（148チーム・2204人参加）

主催・ドッチビー全国大会実行委員会
主管・愛知県フライングディスク協会
後援・愛知県・愛知県教育委員会
名古屋市・名古屋市教育委員会
新城市・新城市教育委員会
中日新聞社 その他4団体

*平成20年12月 日本フライングディスク協会理事会で示されたドッチビー関連の方向性
日本ドッチビー協会が正式に設立されました。
2009年の第5回ドッチビー全国大会は諸般の事情により中止となりました。

中 島 才 資 氏 の あ ゆ み (略 歴)



- 1926年 (大正15年) 10月18日 愛知県南設楽郡東郷村の大宮で生まれる
- 1948年 (昭和23年) 8月 大海自動車創業
- 1988年 (昭和63年) 6月 愛知県フライングディスク協会 初代会長就任。
以後フライングディスクの普及に取り組む
- 1993年 (平成5年) 12月 新城ディスクゴルフコースオープン
(地主の方の協力を頂いて、一人で整備されました)

- 1999年 (平成11年) 5月 日本ドッジビー協会設立準備委員就任
- 2000年 (平成12年) 8月22日 全国初の公式ゲーム大会『第1回ドッジビー子供選手権しんしろオープン』開催
- 2004年 (平成16年) 7月10日 名古屋市教育委員会より感謝状授与
- 2004年 (平成16年) 新城地方体育協会連絡協議会より体育功労授与
- 2005年 (平成17年) 7月31日 『第1回ドッジビー全国大会 in ナゴヤドーム』開催
ドッジビー全国大会実行委員会 会長として活躍
- 2006年 (平成18年) 1月 5日 79歳 逝去



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

写真・左上より ①②新城ディスクゴルフコースの写真2枚 ③新城地方体育協会連絡協議会より贈られたブロンズ像 ④『第1回ドッジビー全国大会 in ナゴヤドーム』のポスター ⑤平成9年6月26日東愛知新聞紙面にて野田俊一さんと『新城から広めよう、フライングディスク』とアピール ⑥名古屋市教育委員会より送られた感謝状 ⑦⑧1992年桜淵公園で行われた中京テレビの撮影風景 ⑨新城ディスクゴルフコースで行われた中日ミスカメラ撮影会入賞作



中島さんのあゆみの中で、ドッジビーの普及に尽力された活動につきましては、「ドッジビーの歴史」に詳細が記載されていますので、そちらをご覧ください。
名古屋ドームで全国大会を開催するのが夢、その夢の為に奮闘しました。
そして、第1回全国大会を名古屋ドームで2005年に開催し夢を実現いたしました。
・ドーム使用料金を寄付され開催に寄与されました
(左写真は、第1回全国大会で大会実行委員会会長として挨拶された時の写真です。)

新しい頁を開いた「中寫才資」流

「ドッジビーの全国大会を、来年、ナゴヤドームで開きたいと思うが？」と、中寫さんがごくふつうの世間話のように話を切り出されたとき、私は一瞬とまどった。

確かに、スーパーソフトの感触は、子どもたちのすばやい動きや身のこなしにぴったりのもを持っている。普及の面でも2000年の第1回子ども選手権をはじめ、さまざまな形で活動を積み重ねてきた。ニュースポーツとしての面白み・広がりも魅力的である。第一、スピードがある。それでいて、ソフトディスクには安全への配慮が十分になされている。

だが、ナゴヤドーム！全国大会！・・・という、常人の感覚では、まず発想のレベルで二の足をふむ。

ドームで、全国大会を

予算はどれぐらいの規模になるか？大会運営の形は？スタッフは？と、常人の心配は果てなく広がる。そんなお尋ねをすると、いろいろ話をされて最後は「何とかかなと思う」と、静かにいわれる。

・・・お聞きしながら、思った。これは、中寫さんの強い決意だと。そして、中寫流の準備がなされてきたのだと。

その1 平成5年に、弾正山コースを

竹広の弾正山の一部をお借りして、フライングディスクゴルフの専用コート在完成されたのが、活動を始めて数年後の1993年であった。茨や雑木を切り、斜面の整地・案内板の設置・管理棟の設置と、全て手づくりであった。

6年後の1999年には、戦国の古戦場である弾正山の一角に、史実に合わせて「徳川家康本陣地」の碑を建てられた。

この時期の中寫さんは、フライングディスク協会の愛知県会長を務めながら、子どもたちに焦点を当てた「日本ドッジビー協会」の設立に全力を挙げて取り組んでみえた。

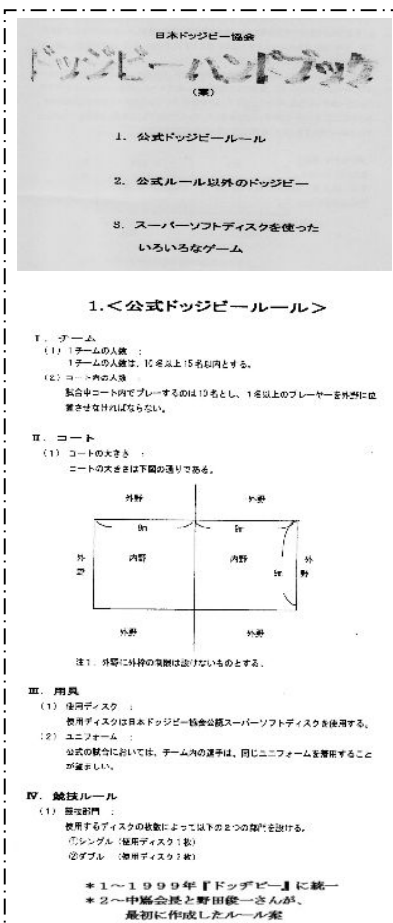
その2 ドッジビー協会の設立をめざして

このお手伝いをされたのが、全日本アルティメット選手権優勝など、フライングディスクの日本トップクラスの実績を持つ、野田俊一さんである。当時、大学をでたばかりの野田さんを連れて、しばしば、市教委を訪ねてみえた。

遊びとしてのソフトディスクを一步広げて、ゲーム等の競技性を持ったものにしたい、といわれ、3人でドッジビーのルールを検討した。左は当時検討したドッジビーのルール最終案〔12頁のハンドブック〕の一部である。

そこで、第1回のドッジビー子ども選手権が新城の総合公園で開催され、ナゴヤドームでの全国大会へと続く。

・・・小学校高学年の児童の好む遊びの「第一位がドッジボール」という調査結果とあの「空を飛ぶフライングディスク」の魅力を、合体させたニュースポーツ「ドッジビー」の誕生は、今、新城の中寫さんから、大きく羽ばたいている。(小林 記)



史上初めてのドッチビー公式試合 (第1回ドッチビー子供選手権新城オープン平成12年8月22日火曜日)の参加チーム

第1回ドッチビー子ども選手権しんしろオープン 参加チーム一覧

第1部 低学年の部

番号	チーム名	代表者氏名	人数		番号	チーム名	代表者氏名	人数	
1	ドラゴンチーム	鈴木 祥太	9	市内	9	東郷東小 2月B	斉藤 京子	8	市内
2	モンキーズ	酒井 大輔	10	市内	10	東郷東小 3月	山崎 久美子	9	市内
3	ドラゴンズ	竹本 佑太	9	市内	11	東郷東小 3雪	山本 佳明	7	市内
4	ミレニアムファイター	稲垣 裕介	10	市内	12	オーギンズ	竹下 哲生	8	市内
5	フラワードラゴンズ	有馬 敬	10	市内	13	ガリガリ	村田 憲彦	10	市内
6	東郷東小 1月	今泉 藤子	8	市内	14	一銀田子供会	小林 正幸	10	市内
7	東郷東小 1雪	一柳 裕子	8	市内	15	東新町子ども会A	中尾 久夫	9	市内
8	東郷東小 2月A	斉藤 京子	9	市内	16	東新町子ども会B	中尾 久夫	7	市内

第2部 高学年の部

番号	チーム名	代表者氏名	人数		番号	チーム名	代表者氏名	人数	
1	ヤンキーズ	加藤 正一	9	市内	20	東郷東小 5年B	太田 幸宏	9	市内
2	ゴーストバスターズ2	辻田 大貴	8	市内	21	東郷東小 6月	野末 正昭	10	市内
3	オールセントラル	西村 太志	8	市内	22	東郷東小 6雪	小林 稔明	10	市内
4	なかよしチーム	白木 達也	9	市内	23	本町こども会	近藤 新市	10	市内
5	ハッピースマイル	長坂 知紗	10	市内	24	小西いのきーズ	渡辺 清	8	小坂井町
6	ガッツひろよしチーム	竹下 裕大	7	市内	25	赤とんぼ	渡辺 清	8	小坂井町
7	みぎっチーム	右田 寛行	10	市内	26	黄櫨野小学校	林 隆治	8	鳳来町
8	飯村チーム	森本 正典	8	豊橋市	27	鹿野小加藤チーム	加藤 伸明	9	市内
9	東陽6月っ子チーム	服部 智子	9	鳳来町	28	鹿野小長坂チーム	長坂 尚洋	8	市内
10	東陽6月っ子軍団	服部 智子	9	鳳来町	29	中西ファイターズ	中西 良典	7	市内
11	鳳来寺小A	加藤 ちず子	8	鳳来町	30	ダブルアズさんズ	山本 あずさ	7	市内
12	鳳来寺小B	加藤 ちず子	8	鳳来町	31	アスパラドリンク	夏目 佳亮	8	市内
13	大清水ラッキーズ	吉田 裕貴	7	豊橋市	32	ミレニアムズ	服部 優大	9	市内
14	福南ファイターズ	蛭川 高志	9	西尾市	33	EX	伊藤 佑樹	9	市内
15	ひやっこ	磯貝 泰子	10	西尾市	34	エイトファイト	鈴木 誠哉	8	市内
16	東郷東小 4月男	白井 稔也	8	市内	35	ひかり	近藤 吉貴	8	赤羽根町
17	東郷東小 4雪男	白井 稔也	7	市内	36	こだま	近藤 吉貴	8	赤羽根町
18	東郷東小 4年女	白井 稔也	7	市内	37	江島子ども会	三浦 玉恵	10	一宮町
19	東郷東小 5年A	鈴木 克枝	10	市内					

<低学年の部> 16チーム

○予選リーグ()内の数字は、チームの人数

リーグ	チーム	人数	チーム	人数	チーム	人数
Aリーグ	ドラゴンズ(9)		東郷東 3 雪(7)		オーギンズ(8)	
Bリーグ	モンキーズ(10)		東郷東 3 月(9)		がかり(10)	
Cリーグ	フラワードラゴンズ(10)		東郷東 2 月 A(9)		一銀田子供会(10)	
Dリーグ	ミレニアムファイター(10)		東郷東 2 月 B(8)		東新町子ども会 A(9)	

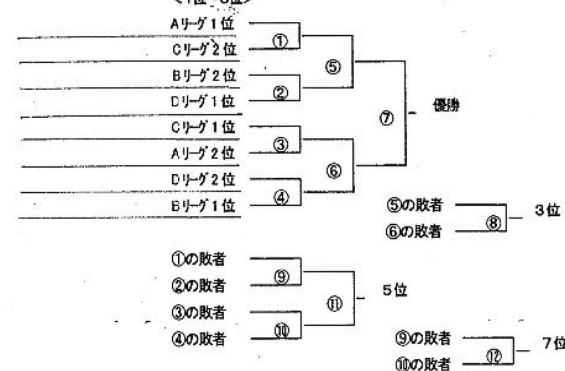
○予選リーグ試合スケジュール

時間	第9コート	第10コート
10:00-10:10	ドラゴンズ vs 東新町子ども会 B	モンキーズ vs ドラゴンチーム
10:10-10:20	東郷東 3 雪 vs オーギンズ	東郷東 3 月 vs がかり
10:20-10:30	ドラゴンズ vs オーギンズ	モンキーズ vs がかり
10:30-10:40	東郷東 3 雪 vs 東新町子ども会 B	東郷東 3 月 vs ドラゴンチーム
10:40-10:50	オーギンズ vs 東新町子ども会 B	がかり vs ドラゴンチーム
11:00-11:10	ドラゴンズ vs 東郷東 3 雪	モンキーズ vs 東郷東 3 月

時間	第11コート	第12コート
10:00-10:10	フラワードラゴンズ vs 東郷東 1 月	ミレニアムファイター vs 東郷東 1 雪
10:10-10:20	東郷東 2 月 A vs 一銀田子供会	東郷東 2 月 B vs 東新町子ども会 A
10:20-10:30	フラワードラゴンズ vs 一銀田子供会	ミレニアムファイター vs 東新町子ども会 A
10:30-10:40	東郷東 2 月 A vs 東郷東 1 月	東郷東 2 月 B vs 東郷東 1 雪
10:40-10:50	一銀田子供会 vs 東郷東 1 月	東新町子ども会 A vs 東郷東 1 雪
11:00-11:10	フラワードラゴンズ vs 東郷東 2 月 A	ミレニアムファイター vs 東郷東 2 月 B

○順位決定トーナメント

<1位~8位>



全国大会の歩み 新城市のチーム



第1回大会一般の部
準優勝 ネバズ(東中)

第1回大会 2005年7月31日 in ナゴヤドーム
東海地区を中心に148チーム・2208人の参加
(新城市より11チーム参加)

小学生低学年の部 3位 サスケキッズ(東小)
一般の部 準優勝 ネバズ(東中)
低学年の部 燃えろファイターズ() 西っ子パワフルズ(西小)
西小キッズ3 (西小)
高学年の部 東郷東小A (東小) 東郷東小B (東小)
6年ファイターズ () 毒キノファイター ()
ショーヤーズ ()
1般の部 大谷大学レク講座



第2回大会 小学生低学年の部
優勝 西っ子パワフルズ(西小)



第1回大会 小学生低学年の部
3位サスケキッズ(東小)

第2回大会 2006年7月16日(日) in ナゴヤドーム
2000人を超えるエントリーと3000人を超える観客数
(新城市より10チーム参加)

小学生低学年の部 優勝 西っ子パワフルズ(西小)
低学年の部 新城ファイターズ()
高学年の部 東郷東小A (東小) 東郷東小B (東小)
サスケキッズ (東小) 西小キッズ4(西小)
ゴールデンジャイアンツ() たこやき ()
ぐるぐるまわるーズ()
1般の部 新城大谷大学

(第1回・第2回大会参加チームの小学校を
ご存知の方は連絡下さい)



第3回大会小学生高学年の部
優勝 ファイヤーレッドboys (西小)

第3回大会 2007年7月29日(日) in ナゴヤドーム
全国9府県から102チーム・1503人参加
(新城市より6チーム参加)

小学生高学年の部 優勝ファイヤーレッドboys (西小)
小学生低学年の部 準優勝西小ボンバーズ (西小)
高学年の部 東郷東小 (東小) 西っ子パワフルズ(西小)
サスケキッズ(東小)



第3回大会小学生低学年の部
準優勝 西小ボンバーズ (西小)

ドッチビー全国大会実行委員会 会長 中島 才資

(愛知県フライングディスク協会 会長)

皆さん、全国各地よりナゴヤドームにお集まりいただき、誠にありがとうございます。

愛知県フライングディスク協会では、フライングディスクの普及の一環としてウレタン製のソフトディスク「ドッチビー」を使ったスポーツの普及に努めてまいりましたが、年齢・性別・体力に関係なく安全に楽しめるスポーツとして、またたく間に愛知県のみならず全国に普及しました。全国的な普及に伴い、「全国大会を開催して欲しい」という声が高まり、日本フライングディスク協会とドッチビージャパンと共に大会実行委員会を組織し、第1回ドッチビー全国大会を開催するに至りました。



今大会では、小学生だけでなく、中学生以上の一般の部も設けました。今後、大人も子どもと一緒に楽しめるユニークなスポーツとしてドッチビーが更に全国に普及し、第2回、第3回と大会が発展していくことを切に希望します。

最後になりましたが、今大会を開催するにあたりご後援、ご協賛、ご協力いただいた全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

第1回全国大会のプログラムに記載された文章です

ドッチビーについての情報・資料がございましたら

北体振役員に連絡または、下記アドレスまでメールをして下さい

adg.88.jmptw@ezweb.ne.jp

新城市北部体育振興会 広報係

2009年4月2日 作成